

学部 / 人間科学領域 / 情報

科目コード : 110404

# 保健統計学 Health Statistics

担当教員	大木秀一				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	統計学 保健学 公衆衛生学 疫学 量的研究				
学習目的・目標	健康や疾病に関する統計を取る意味を理解する。そのために、統計学の考え方と基本的な分析技術を習得する。以上を系統的に学習することにより、2年次に学習する公衆衛生学、3年次に学習する疫学、研究方法論の理解を深いものとする。疫学・公衆衛生学との関連を随所で指摘することにより、学習の必要性を意識づけする。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	保健統計学の全体像（人を対象とした統計学と集団における健康事象）				
2	統計学（統計学の基礎：統計学の歴史、基本用語と尺度水準、記述統計と推測統計の区別）				
3	統計学（1変数・2変数の記述統計の全体像）				
4	統計学（1変数の記述統計：質的データの図表化、量的データの図表化、ヒストグラムの作成）				
5	統計学（1変数の記述統計：量的データの数値要約、代表値、散布度、歪度、尖度、その他の統計指標）				
6	統計学（2変数の記述統計：質的2変数の関連、クロス集計、関連係数、 $\chi^2$ 値）				
7	統計学（2変数の記述統計：量的2変数の相関、相関係数、回帰直線、寄与率、順位相関係数）				
8	統計学（推測統計の基本：確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布）				
9	統計学（推測統計の手法：t検定と $\chi^2$ 検定の基本的な考え方）				
10	保健統計（保健統計とは、保健統計の歴史、人口統計学の基本）				
11	保健統計（人口静態統計：国勢調査、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標）				
12	保健統計（人口動態統計：出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率）				
13	保健統計（生命表、平均余命、平均寿命、健康寿命）				
14	保健統計（統計法と保健統計調査、基幹統計、国民生活基礎調査、患者調査）				
15	保健統計（学校保健統計、感染症発生動向調査、食中毒統計、国民健康・栄養調査ほか）				
教科書	大木秀一著：基本からわかる看護統計学入門（第2版），医歯薬出版				
参考図書等	大木秀一著：量的な看護研究のきほん，医歯薬出版 福富、橋本著：保健統計・疫学，南山堂 国民衛生の動向（最新版），厚生労働統計協会				
評価指標	試験（100%）、出席状況（試験の成績によっては考慮する） 出席は毎回の小テストの提出による。				
関連科目	情報リテラシー 情報処理学 公衆衛生学 疫学 研究方法論				
教員から学生へのメッセージ	1. 公衆衛生学、疫学、研究方法論及び卒業研究の基礎となる科目です。 2. 実際のパソコンでの統計計算は2年次後期の「情報処理学」で行います。				